

酒田市男女共同参画推進センター

No.98

ウィズ・レター



目次 ▼令和2年度「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」
▼副市長からのメッセージ▼出前講座開催報告▼ウィズ講座開催報告

男女共同参画社会の実現に向けて “受賞おめでとうございます” 令和2年度『山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰』

男女共同参画社会の形成の促進に資するため、多年にわたり男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人・団体を山形県知事が表彰している賞です。令和2年度は、県内で2個人、1団体が受賞し、本市からは株式会社小松写真印刷会長の佐藤茂枝氏が受賞し、県知事より表彰を受けました。



佐藤 茂枝 氏 株式会社小松写真印刷 会長

長年、会社経営及び商工会議所活動に携わり、酒田商工会議所では女性初の副会頭を務め、各種方針決定に意見を反映させるなど、女性の社会参画の促進に大きく貢献されました。

また、情報誌「月刊スプーン」を創刊し、発行人として女性スタッフから成る編集部を率い、女性の人材育成に取り組むとともに、情報誌に様々な分野で活躍している女性を掲載し、男女共同参画社会基本法の制定以前から、男女共同参画社会づくりと、女性活躍の気運醸成に大きく貢献され、現在も情報誌「Cradle [クレードル]」の発行人としてご活躍されています。



◆◆◆ 主な経歴 ◆◆◆

平成 3年～平成 21年 / 月刊「SPOON [スプーン]」 発行人
平成 10年～平成 14年 / 酒田商工会議所 女性会会長
平成 16年～平成 23年 / 株式会社小松写真印刷 取締役副社長
平成 22年～現在 / 情報誌「Cradle [クレードル]」 発行人
平成 23年～令和元年 / 株式会社小松写真印刷 代表取締役社長
平成 25年～平成 28年 / 酒田商工会議所 工業部会長 (女性初)
平成 28年～令和元年 / 酒田商工会議所 副会頭 (女性初)
令和元年～現在 / 株式会社小松写真印刷 代表取締役会長

『副市長からのメッセージ』を市HPで発信しています！ がんばっている女性のみなさんへ「頑張りすぎないで」「一人で抱え込まないで」



副市長 矢口 明子

酒田のみなさん、特に女性のみなさんは、普段から家事・仕事・育児・介護など、本当に休む間もなくがんばっていると思います。お金の支払われる「仕事」(paidwork)だけが仕事なのではありません。家事・育児・介護・地域活動なども立派な「仕事」(unpaidwork: アンペイドワーク)であり、全ての「仕事」を合わせると、多くの女性が日々長時間働いていることと思います。疲れて休みたいと思ったり、自分だけの時間が欲しいと願うのも、当然のことだと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年はさらに家庭における女性の「負担」が増えたと言われています。学校休校によりこれまで以上に子どもの世話を時間を使うようになった人、感染リスクを心配しながら長時間働くことになった人、あるいは逆に休業により収入が減った人、親に会えない子・子に会えない親、ドメスティックバイオレンス(DV)や児童虐待のリスクに直面している人など、今も多くの女性が不安を抱えながら過ごしているのではないかと心配しています。

酒田市では「日本一女性が働きやすいまち」を目指していますが、これは決して「女性だけがもつがんばる」ものではありません。家庭においては、女性がこれまで担ってきたアンペイドワークを家族みんなで分担したり、家事代行等の外部サービスを上手く利用するなどして、誰か一人だけががんばるという状況をなくすことが必要です。

がんばっている女性のみなさん、自分がリラックスできる時間を持ちましょう。上手に手を抜きましょう。周りの人を頼りましょう。信頼できる人に話しましょう。各種相談窓口もありますので、積極的に利用してほしいと思います。

詳しくは「酒田市女性応援ポータルサイト」をご覧ください。



女性が抱えるさまざまな問題についての相談窓口

DV相談ナビ(短縮ダイヤル)

8008(はれれば)

発信場所から最寄りの窓口に、あなたがかけた電話を自動転送します。

※現行の電話: 0570-0-55210 は、令和3年4月1日以降は、使用できなくなります。

DV相談+ (プラス) 24時間対応電話

つなぐ はやく
電話番号: 0120-279-889

新型コロナウイルス感染症に伴う生活不安・ストレスなどから、DVの増加・深刻化が懸念されています。内閣府では、相談体制を強化するため、新たにDV相談+ (プラス)を開始しています。

※詳しくは <https://soudanplus.jp> 参照

性犯罪、性暴力被害者のためのワンストップ支援センター(短縮ダイヤル)

8891(はやくワンストップ)

最寄りのセンターにつながります。

べにサボやまがた やまがた性暴力被害者サポートセンター電話: 023-665-0500

性暴力に関するSNS相談

「Cure Time (キュアタイム)」

内閣府では、性犯罪・性暴力対策の強化のため、令和3年1月30日まで、性暴力に関するSNS相談「Cure Time (キュアタイム)」を実施しています。【受付日時】毎週月・水・金・土(12月29日~1月3日を除く) 16:00~21:00

※詳しくは <https://curetime.jp> 参照

- 配偶者暴力相談支援センター ☎0235-66-4759 (平日 午前8時30分~午後5時15分) <<庄内総合支庁>>
- 市子育て支援課(女性相談) ☎0234-26-5734 (平日 午前8時30分~午後5時15分)
- 市男女共同参画推進センター ☎0234-26-5616 (平日 午前9時~午後4時) <<ウィズ>>

“家事はだれがやるもの？” “みんなで協力していますか？”

令和2年度
“出前講座”
実施中

家事シェアを通して、家族とコミュニケーションを深めると共に、無意識に持っている「性別による固定的な役割分担意識」を見直し、「家庭の中での男女共同参画」を推進する出前講座を実施中です。本市の共働き世帯の割合は全国的にも高く、多くの女性が働きながら家事をこなしており、妻に家事分担がかたよりがちな現状にあります。

家事はだれがやるもの？いまいちど家族で考え、話し合いをしてみませんか。

8/28(金)10:00~11:00 「コロナに負けない！おうち時間を楽しく心地よく」～家事シェアで“新たな日常”へ～



団体名：48区老友会（参加者15名） 会場：正法会館



ゲームや講話を通して家庭内の役割分担を考える講座を開催。参加者は、「女性（男性）だからこうあるべき」という「当たり前」を見直すきっかけになりました。

参加者の声（アンケートから）

- いろいろ考えさせられました。（70代男性）
- 「わが家のワクワク・ライフ・バランス」に check すると、あらためて-----。（60代男性）
- 今後の設計に役立てる。（80代男性）
- 久しぶりに家から出て講座が聞いてよかった。（70代女性）

11/9(月)13:20~14:50 「ジェンダーについて」

団体名：酒田人権擁護委員会（参加者29名） 会場：観音湯（会議室）

今回の出前講座は、酒田人権擁護委員会の研修担当者様から「ジェンダーについて」お話をいただきました。いと要望があり、今年度出前講座（家事シェア）とは別に企画しました。【①ジェンダーについて②数字でみるわたしたちのまちの現状③ジェンダークイズ④ワーク】「数字で見る私たちのまちの現状」では、参加者の興味津々な様子がうかがえ、数値化することで男女共同参画が理解されやすいと感じました。また、ジェンダークイズやグループワークでは、皆様から活発な意見があり、グループ内の代表者がそれぞれの意見をまとめて発表しました。参加者はジェンダーについて、さらに理解を深めることができました。

参加者の声（アンケートから）

- これからの時代やはり男女共同参画が必要。又、人権の上でも女性の立場等の向上が、とても大切だとつくづく考えました。進めていきたいです。（60代女性）
- グループ作業で意見交換することで、知見を深めることができました。（60代男性）
- こういう講義は、対岸の火事のように聞き終わってしまうことが多いのに、楽しく参加させていただきました。みんなの家庭の意見が聞いてよかったです。（70代女性）
- 身近なテーマから入り、わかりやすい。（60代女性）
- 現状分析について数値化されており理解しやすかった。（60代男性）



ウィズ講座 『心理カウンセラーに学ぶコミュニケーションの極意』

～お互いに尊重する話法を学び、呼吸法でリラックスしよう～を開催しました！

講師：JADP認定上級カウンセラー・丹田呼吸法セラピストマスター 齋藤 みつえ 氏

8月29日（土）JADP認定上級カウンセラー・丹田呼吸法セラピストマスターの齋藤みつえさんを講師にお迎えし、心身共に、いきいきと自分らしい充実した人生を送るために、コミュニケーションの意味を理解し、自分も相手も尊重する話し方を身につけ、対等に表現する話法とリラックスできる呼吸法を学ぶことを目的に開催しました。20代から60代の男女20名が参加しました。講師の齋藤みつえさんは、“お互いに尊重する話法”にポイントを置き、発信する側を想定してワークを交えながら進めました。会場内は、齋藤さんのお人柄と話術から一気に緊張感が解きほぐれ、みんなが笑顔になりコミュニケーションが取りやすい雰囲気になりました。また、齋藤さんは、コミュニケーションの主演は「相手」と強調し、「相手が受け取りやすい言葉」を使い、「相手が何をしてもらいたいのか」を考えることが大切だ、と説明しました。参加者は、笑顔の大切さ、プラスになる言葉、相手も自分も大切に話す話法を実践で楽しく学び、最後に“丹田呼吸法でリラックス”することができました。



参加者の声（アンケートから）

- ・相手のことを一番に考えコミュニケーションをとることが大切だと改めて知りました。話し方ひとつで、相手も自分も気持ちよくコミュニケーションを取れることを知り、即実行していきたいと思います。（40代女性）
- ・周囲の方々とのワークを通じて、楽しくコミュニケーションを学ぶことができました。お話もとてもわかりやすく、役立つことばかりで、良い時間でした。（20代女性）
- ・初対面の方ともコミュニケーションがとりやすくなったと思います。丹田呼吸法も、いつでもどこでもできることがわかり、続けたいと思います。（50代女性）
- ・参加して良かったです。マスクをしても、人とコミュニケーションしたいと思います。（40代女性）

酒田市地域創生部 地域共生課 男女共同参画係
男女共同参画推進センター ウィズ
 開館 月～土 : 9:00 ~ 22:00
 日・祝 : 9:00 ~ 17:00
 相談 月～金 : 9:00 ~ 16:00 (祝日除く)
 〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5
 交流ひろば内

Tel : 0234 (26) 5616

Fax : 0234 (26) 5617

E-mail : with@city.sakata.lg.jp

ウィズのHPに
アクセスできます

